



近現代の人々

vol.05



佐藤隆房 (1890-1981)

5月号は湯本出身の医者、佐藤隆房について紹介します。佐藤隆房は、明治23年、那須村湯本の佐藤房之助の長男として誕生しました。父の房之助は寄居出身で、芦野・湯本・馬頭・親園の小学校で教壇に立ち、退職後は湯本で常盤屋を経営するなど、那須地区の教育、那須温泉の発展に貢献した人物です。

隆房は、湯本尋常小学校、芦野尋常高等小学校、大田原中学校（後に川越中学校に編入）、千葉医科大学専門学校（現・千葉大学医学部）を卒業すると、大正6年、現在の岩手県花巻市に「佐藤外科医院」を開業します。より大きな病院の必要性を地元政財界の要人に働きかけると、同12年「花巻共立病院」を創設し、院長に就任。同14年には「花巻産婆看護学校」を創設し、

地域医療の近代化に貢献しました。

また、隆房は宮沢賢治や高村光太郎との交流が知られています。隆房は宮沢賢治最後の主治医であり、賢治の詩「S博士に」に登場するなど、賢治の作品に多数登場します。また、アジア太平洋戦争中には、高村光太郎を自宅の居室に疎開させ、親交を持ちました。戦後、隆房は自ら佐藤郷志館（現・桜地人館）を開館し、賢治や光太郎らの資料や作品を展示するなど彼らの功績を現在まで伝えていきます。

隆房は故郷への社会貢献も行っています。昭和10年、唵初寺再興の発起人となり、寺の再興を果たすと、昭和40年には、那須小学校創立90周年式典において、卒業生として記念講演を行い、多額の寄付をしたと伝えられています。

故郷への思いを持ちつつ、宮沢賢治や高村光太郎を支えた佐藤隆房。残念ながら隆房を知る人は那須町民より花巻市民の方が多いでしょう。御用邸だけでなく、町民が隆房

を入口として地域との交流を深め、文化や経済の振興を図ることを期待してやみません。



那須村での学位授与祝賀会(昭和3年)

問合せ

那須歴史探訪館 ☎747007



我が家は、毎年総出で田植えをする。子ども達は田んぼの土手で遊んだり、たまに手伝ったりと思いいきに過ごしている。私は、転んで泥だらけになるのではと気がでない▼木陰にレジャーシートを広げると「お昼だよー」と声を張り上げみんなを呼ぶ。冷やしたきゅうりにかぶりつく息子。おにぎりをおぼる父。「今日は仕事

がはいくな」父のひとつで順調に進んでいることが分かる▼突然、車が止まり、男性がこちらへ近づいて来た。白髪の見覚えのない男性だ。「こんにちは。いい天気ですね」と明るくはつきりとした口調で声を掛けてきた。「写真を撮らせてくれませんか」予想外の申し出に少し面食らいながらも、父は快く「いいですよ」と返事をした。よく見ると、男性は一眼レフカメラを肩にかけていた▼男性が言うには、家族そろって土手で昼

食を取る光景は、最近では珍しいことだ▼写真を撮られることに慣れていない私たちの表情は硬い。「もつと笑って」ぎこちない表情の大人たち。「君はいい笑顔だね」隣の息子を見るとニコニコとしていた。つられて周りも笑顔になり、ようやく写真を撮り終えた▼今年も田植えの時期がやってくる。あの男性は元気にしているだろうか、懐かしく思い出す。毎年の恒例行事を少しだけ特別な思い出にしてくれて感謝する。

こんにちは

赤ちゃん



令和2年9月11日生

三森 香穂ちゃん(上川)

父 大輔さん 母 香さん

香穂ちゃんは…

お兄ちゃんとお姉ちゃんが大好きで、家族の癒しです♡

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 (4月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

●世帯数 10,521世帯 (+35)
●人口 24,418人 (-68)
男 12,164人 (-31)
女 12,254人 (-37)

出生 5人 (+2)
死亡 45人 (+10)
転入 128人 (+76)
転出 155人 (+89)
その他 1人